

■ 景観まちづくりの理念

美しく風格ある岡崎の創生

～自然・歴史・暮らしをつなぎ、誇りと愛着を育む景観まちづくり～

わたしたちのまち岡崎は、三河山地から連なる豊かな緑と矢作川や乙川の清流など四季の移ろいを際立たせる恵まれた自然や地形を背景に、江戸幕府を開いた徳川家康公生誕の地である岡崎城をはじめ、長い年月を重ねたくらしのなかに、これまで培われた歴史的・文化的資産を数多く有し、今なお西三河地域の拠点都市として発展する固有の伝統と風格をもつ美しいまちです。

この岡崎固有の魅力ある景観は、まさに先人の努力の成果を受け継いだ、かけがえのない市民共通の財産であるとの認識のもと、わたしたち一人ひとりが景観への意識を高め、地域の個性を活かしながら、豊かな自然、固有の歴史、快適なくらしをつなぎ、次代を担う子どもたちが、ふるさと岡崎に誇りと愛着が持てるような景観まちづくりを進め、その魅力にさらなる磨きをかけ、より美しく、風格ある岡崎を創生するものです。

創生とは…今までにない新しい景観を創り出すほか、現状の良い景観に磨きをかけることや、失われた優れた景観を再生することです。

■ 将来の景観像（これらが一体となって調和する景観を目指します）

自然があふれ、地形が活きる景観

変化に富んだ地形を基盤とし、森林や田園、都市を結ぶ矢作川や乙川を軸に、豊かな水と緑が広く展開しています。

まちのどこにいても、身近な水と緑が美しく心にしみわたり、四季折々の豊かな表情、地形の変化による多様な景観や伸びやかな眺望を楽しめるような景観を形成します。



歴史が輝き、伝統が息づく景観

古くから東西交通の要衝であり、城下町や宿場町、門前町などを基盤として発展し、今も威風堂々たる歴史・伝統が息づいています。

歴史的な建造物やまちなみ、文化財等を保全・活用しながら、くらしのなかに歴史と文化の薫る景観を形成します。



くらしが潤い、まちが華やぐ景観

豊かな地域資産を背景に、多くの人々のくらしの舞台として、西三河地域の拠点都市にふさわしい活力と魅力あるまちが形成されています。

落ち着いた住環境や、いきいきとしたまちの活力、にぎわいが感じられ、だれもが住み続けたいくなる、訪れたいくなるような魅力ある景観を形成します。



■ 基本姿勢（誇りと愛着を育む景観まちづくりを、それぞれの役割に応じた積極的な協働により進めます）

市民、事業者、行政ら多様な主体が、それぞれの役割に応じて積極的に協働し、地域の個性を活かして、自然、歴史、暮らしをつなぎ誇りと愛着を育む景観まちづくりを進めます。



どのような景観を目指すのか

どのような姿勢で進めるのか

■ 景観まちづくりの5つの基本方針

（将来の景観像を実現するために、これらの基本方針に基づいた施策によって景観まちづくりを展開します）

自然とくらしをつなぐ

豊かな自然環境と調和し、潤い、安らぐ景観形成

- ☐ 地形の特徴を活かす
- ☐ 骨格となる水と緑を際立たせる
- ☐ 身近な水や緑を育む
- ☐ 眺望を確保する

歴史と未来をつなぐ

固有の歴史・伝統を守り、継承する景観形成

- ☐ 地域固有の歴史や成り立ちを表現する
- ☐ 歴史的・文化的資産を発掘し、保全・活用する
- ☐ 城下町、宿場町及び門前町等の風情をつくる
- ☐ 岡崎城のシンボル性を高める

くらしと空間をつなぐ

場の特性を読み解き、魅力を高める景観形成

- ☐ 岡崎らしさを感じることのできる空間をつくる
- ☐ 交流と賑わいの場を演出する
- ☐ まちの活力を創出し、地域の活性化を促す
- ☐ 多様性を持たせ、活力や豊かさを持続させる

個と全体をつなぐ

周辺環境との関係性に配慮し、調和する景観形成

- ☐ 秩序ある市街地空間をつくる
- ☐ 周辺環境と調和し連続性のあるまちなみをつくる
- ☐ 骨格的な景観をつくる
- ☐ 周辺のまとまりを高めるようデザインする

人と地域をつなぐ

身近な活動を通じ、コミュニティを育む景観形成

- ☐ できることから始める
- ☐ 身近な活動から地域へ拡げる
- ☐ 価値観の共感・共有により交流や連携を拡げる
- ☐ くらしに根ざした景観を再発見し大切にする

どのような方針で取り組むのか